

# 市民アンケート調査結果報告

令和5年度第2回日高市地域公共交通協議会  
2024年3月21日 @高萩公民館



# 1. 調査概要

- 地域公共交通計画の作成に当たり、市民の皆様の移動実態、公共交通等の利用状況・ニーズ等を把握するため、市民アンケート調査を実施しました。

対象者	・日高市民（※無作為抽出した3,000人）
調査方法	・郵送配布・郵送回収
回答期間	・2023年12月1日～18日
回収票数	・1,582票（回収率52.7%）
調査内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・属性（性別、年齢、世帯構成、居住年数、免許・自家用車保有状況 等）</li><li>・日常の交通行動（目的・目的地、頻度、利用交通手段、時間帯 等）</li><li>・徒歩移動に関する制約</li><li>・地域公共交通の利用状況・満足度</li><li>・地域公共交通の利用・非利用理由</li><li>・地域公共交通に対するニーズ、地域公共交通の不便さにより制約を受けている活動</li><li>・移送サービスの利用状況・サービス維持への協力意向 等</li></ul>
備考	<ul style="list-style-type: none"><li>・対象者は高校生以上（15歳以上）の市民とし、中学生以下の子どもの移動実態については親の調査票の中で可能な限り確認した。</li><li>・公共交通利用者の意見を着実に確保するため、年代別の公共交通分担率（全国パーソナリティ調査結果）に基づいて傾斜配分の上対象者を抽出した。</li><li>・「配信用封筒に日高市の名称を明記」「リマインドのハガキを送付」「市の広報誌・ホームページ等で案内」等の回収向上策を講じた成果もあり、多くの市民の方々のご協力をいただいた。</li></ul>

# 1. 調査概要

## 普段の移動・交通に関するアンケート調査

問1 あなたの日常の移動について、お伺いします。

問1-1: あなたの「通勤/通学先」「買物先」「通院先」への移動について①～⑤をそれぞれお答えください。

	①施設の種類	②訪問頻度 (1つだけ○)	③施設での 平均的な 滞在時間	④自宅からの 平均所要時 間(片道)	⑤家から目的地までに 利用する交通手段 (複数選択可)
選択肢	※通勤/通学先・ 買物先・通院先で 該当するものがない (普段その目的 では移動してい ない)場合は、空欄 でかまいません。	1 週に 3回以上 2 週に 1～2回 3 1か月に 1～2回 4 年に 数回以下	おおよその時 刻を( )内に ご記入ください。 ※24時間単位 でご回答ください。	おおよその時 間を( )内に ご記入ください。	1 徒歩 2 自転車・バイク 3 自動車(自分で運転) 4 自動車(家族等による送迎) 5 バス 6 鉄道 7 タクシー 8 地域おたすけ隊の送迎 9 おりづる号(こま武蔵台) /デマンド交通(横手台) 10 施設の送迎サービス 11 その他 ( [ ] 内に具体的に ご記入ください。)
記入例		① 2 3 4	( 9 : 00 ) 頃 ～ ( 17 : 30 ) 頃	片道 ( 30 ) 分 程度	1 ② 3 4 5 ⑥ 7 8 9 10 11
通勤/ 通学先 への 移動に ついて	通勤/通学先の住所  日高市内の場合は大字 まで(例:日高市南平 沢)。 市外の場合は市区町村 名まで(例:飯籠市)。	1 2 3 4	( : ) 頃 ～ ( : ) 頃	片道 ( ) 分 程度	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 ※11を選んだ方は具体的に
買物先 への 移動に ついて	最も利用する店名  例)▲▲スーパー◎◎ 店等	1 2 3 4	( : ) 頃 ～ ( : ) 頃	片道 ( ) 分 程度	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 ※11を選んだ方は具体的に
通院先 への 移動に ついて	最も利用する病院名  例)××病院等	1 2 3 4	( : ) 頃 ～ ( : ) 頃	片道 ( ) 分 程度	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 ※11を選んだ方は具体的に

問1-2:あなたは普段、目的地までどのぐらいの距離であれば徒歩で移動しているか、お答えください(1つだけ○)。

- ① 1キロメートル以上 ② 数百メートル程度 ③ 数十メートル程度 ④ 徒歩での移動は困難

問1-3:あなたが普段、移動が不便なことにより行くことをあきらめていたり、行く回数を減らしてたりする施設があればお答えください。もしくは、公共交通等で訪問しやすくなると嬉しいと感じる施設があればお答えください(施設名を具体的にお答えください。日高市内の施設でなくても構いません。また、いくつ記入いただいても構いません)。

問1-4:あなたの普段の公共交通(バス・鉄道・タクシー)のご利用について、①～⑤をそれぞれお答えください。

	①利用頻度(1つだけ○)	②その交通機関による主な先行(主なもの1つだけ)	③満足度(1つだけ○)
選択肢	1 週に3回以上 2 週に1～2回 3 1か月に1～2回 4 年に数回以下 5 全く利用しない	[ ]内に具体的に ご記入ください。 ※①で「5 全く利用しない」場合は回答不要	1 満足している 2 やや満足 3 どちらでもない 4 あまり満足していない 5 満足していない ※①で「5 全く利用しない」場合は回答不要
バス ⇒	1 2 3 4 5	[ ]	1 2 3 4 5
鉄道 ⇒	1 2 3 4 5	[ ]	1 2 3 4 5
タクシー ⇒	1 2 3 4 5	[ ]	1 2 3 4 5

	④利用の際に感じる良い点(複数選択可)	⑤利用の際に感じる不便な点(複数選択可)
選択肢	1 自分で運転せずに済む 2 歩く距離が少なくて済む 3 利用したいときに利用できる・便数が多い 4 自宅近く・目的地近くで乗降できる 5 目的地まで速く移動できる 6 交通機関同士の接続が良い 7 到着時刻が読みやすい 8 運賃が安い 9 移動時間を有効に活用できる 10 乗車時にゆったりできる 11 複数の目的地を効率的に周回できる 12 その他( [ ] 内に具体的に ) 13 特になし ※①で「5 全く利用しない」場合は回答不要	1 乗車するまでに歩く距離が長い 2 利用したいときに利用できない・便数が少ない 3 自宅近く・目的地近くで乗降できない 4 目的地に着くまでに時間がかかる 5 交通機関同士の接続が悪い 6 到着時刻が読みにくい 7 運賃が高い 8 移動時の負担が大きい(酔ってしまう、他の作業ができない等) 9 乗車時にゆったりできない 10 複数の目的地を効率的に周回できない 11 どの停留所・路線を使えばいいかわかりにくい 12 その他( [ ] 内に具体的に ) 13 特になし ※①で「5 全く利用しない」場合は回答不要
バス ⇒	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 ※12を選んだ方は具体的に [ ]	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 ※12を選んだ方は具体的に [ ]
鉄道 ⇒	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 ※12を選んだ方は具体的に [ ]	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 ※12を選んだ方は具体的に [ ]
タクシー ⇒	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 ※12を選んだ方は具体的に [ ]	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 ※12を選んだ方は具体的に [ ]

# 1. 調査概要

問 1-5: 普段、家族や知人の「通勤」「通院」等のためにあなたが行う送迎についてお伺いします。①～④について、それぞれお答えください。(その目的での送迎をしていない場合は①で「5 全く送迎しない」を選択いただき、②～④は回答不要です。)

	① 送迎の頻度 (1つだけ○)	② 送迎先 (1つだけ○)	③ 送迎時の車の運転 (1つだけ○)	④ 送迎の負担感 (1つだけ○)
選択肢	1 週に3回以上 2 週に1～2回 3 1か月に1～2回 4 年に数回以下 5 全く送迎しない	1 日高市内 2 飯能市 3 毛呂山町 4 その他 ※①で「5 全く送迎しない」場合は回答不要	1 運転する 2 運転しない ※①で「5 全く送迎しない」場合は回答不要	1 高い 2 やや高い 3 どちらでもない 4 やや低い 5 低い ※①で「5 全く送迎しない」場合は回答不要
通勤 ⇒	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2	1 2 3 4 5
通園・通学 ⇒	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2	1 2 3 4 5
習い事等 ⇒	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2	1 2 3 4 5
通院介護 ⇒	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2	1 2 3 4 5

問 2 地域の移動サービスを確保・維持していく活動について、お伺いします。

問 2-1: 日高市で行われている移動を支援する事業について、①～②をお答えください。

	①各事業の認知(1つだけ○)	②利用頻度(1つだけ○)
選択肢	1 詳しく知っている 2 概ね知っている 3 名称だけ知っている 4 知らない	1 週に3回以上 2 週に1～2回 3 1か月に1～2回 4 年に数回以下 5 利用していない/事業の対象外 ※①で「4 知らない」事業は回答不要
高齢者等おでかけ支援事業 (高齢者等へのバス・タクシー補助券の配布)	1 2 3 4	1 2 3 4 5
地域自主運行事業 (ごま蔵台・後手台で実施している自治会による移送サービス)	1 2 3 4	1 2 3 4 5
地域おたすけ隊 (地域おたすけ隊による高齢者等の送迎サービス)	1 2 3 4	1 2 3 4 5
ファミリー・サポート・センター事業による送迎 (子どもの送迎などの支援)	1 2 3 4	1 2 3 4 5

問 2-2: 問 2-1 の事業の中には、地域のボランティアによって送迎活動が行われているものがあります。あなたは今後、このようなボランティアによる送迎活動に運営側(運転協力等)として協力してもよいと思えますか(1つだけ○)

① 既に協力している ② 今は協力していないが今後してもよい ③ 協力は難しい ④ わからない

問 3 現在、一番下のお子さまが未就学児の方にお伺いします。(※あてはまらない方は問 4へ)

問 3-1: お子さまを連れて移動する際に特によく利用する交通手段をお答えください。(最大3つまで○)

① 徒歩 ② 自転車 ③ バイク ④ 自動車(自分で運転)  
⑤ バス ⑥ 鉄道 ⑦ タクシー ⑧ 施設の送迎サービス  
⑨ その他(具体的に) [ ]

問 3-2: 公共交通機関にお子さまを連れて利用する際に特に困っていることをお答えください。(最大3つまで○)

① 駅やバス停付近にエレベーターがない/使いづらい ② 車両にベビーカーで乗り降りしづらい  
③ 駅やバス停付近にスロープがない ④ 駅やバス停付近に授乳する場所がない  
⑤ 駅やバス停付近におむつを替える場所がない ⑥ 駅やバス停付近にお子さまと入れるトイレがない  
⑦ ベンチや上屋根がない所で待たないといけな ⑧ 車両の座席が狭い  
⑨ その他(具体的に) [ ]  
⑩ 特になし

問 4 最後に、あなた自身のことについてお伺いします。

問 4-1: 年齢をお答えください。(1つだけ○)

① 20歳未満 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代  
⑥ 60～64歳 ⑦ 65～69歳 ⑧ 70～74歳 ⑨ 75～79歳 ⑩ 80歳以上

問 4-2: 性別をお答えください。(1つだけ○)

① 男性 ② 女性 ③ 答えたくない [ ] 年 ※具体的な年数を記入してください

問 4-3: 日高市内での居住年数をお答えください。

問 4-4: ご自宅の郵便番号の下2桁をお答えください。 3 5 0 - 1 2 [ ]

問 4-5: あなたと一緒に住んでいる方をすべてお答えください。(※複数回答可)

① ひとり暮らし(同居している人はいない) ② 配偶者・パートナー ③ 父母 ④ 祖父母  
⑤ 兄弟・姉妹 ⑥ 子ども(未就学児) ⑦ 子ども(小学生) ⑧ 子ども(中学生以上)  
⑨ 孫 ⑩ 親戚 ⑪ その他

問 4-6: あなたの普段の歩行時の状況について、差し支えなければお答えください。(※複数回答可)

① 坂や階段、長距離の移動が難しい ② 車いすを利用している ③ 杖や手押しカートを使っている  
④ ペビーカーを使っている ⑤ 特に支障は感じない ⑥ その他

問 4-7: 普通自動車免許の保有と車の運転について、お答えください。(1つだけ○)

① 免許を持っており日常的に車を運転する ② 免許を持っているがほとんど運転しない  
③ 以前は免許を持っていたが返納した ④ 免許を持っていない

★以下、問 4-8～問 4-10 は現在普通自動車免許をお持ちの方(問 4-7 で①②を選ばれた方)がお答えください。

問 4-8: 運転をする理由としてあてはまるものをすべてお答えください。(※複数回答可)

① 通勤に使用するため ② 買物等お店に行く際に使用するため  
③ 通勤・通学の送迎で使用するため ④ 介護・通院の送迎で使用するため  
⑤ 趣味で外出するため ⑥ 通院に使用するため  
⑦ 荷物を運ぶ際に困らないようにするため ⑧ 緊急時に備えるため  
⑨ 運転が楽しいから ⑩ 最寄りの駅・バス停まで遠いため  
⑪ 電車・バスの本数が少ないため  
⑫ その他(具体的に) [ ]  
⑬ 特に理由はない

問 4-9: 自動車の運転について、あなたのお考えに近いものをお答えください。(1つだけ○)

① 運転をすることが好きで、積極的に運転したい  
② 運転をすることが特段好きでもないが、特に苦でもない  
③ 運転はなるべくしたくないが、自分の用事のためであれば仕方なく運転する  
④ 運転はなるべくしたくないが、家族等の送迎のためであれば仕方なく運転する  
⑤ 運転したくない/できない

問 4-10: 今後、運転に自信がなくなったり、家族から心配されたりした場合、免許を返納すると思えますか。(1つだけ○)

① すぐに返納すると思う ② すぐではないが返納すると思う ③ 返納しないと思う ④ わからない

最後に、日高市の地域公共交通に対してご意見などがございましたら、以下の欄内にお書きください。

## 2. 回答者の属性

- 性別・居住地区区分については母集団の分布と概ね一致しており、バランスよく回答を得ています。
- 公共交通利用者の回答を確保するため、高齢者層に重点的にアンケート調査票を配布した関係で、70歳以上の高齢者からの回答割合が高いことから、結果の解釈において留意が必要です。

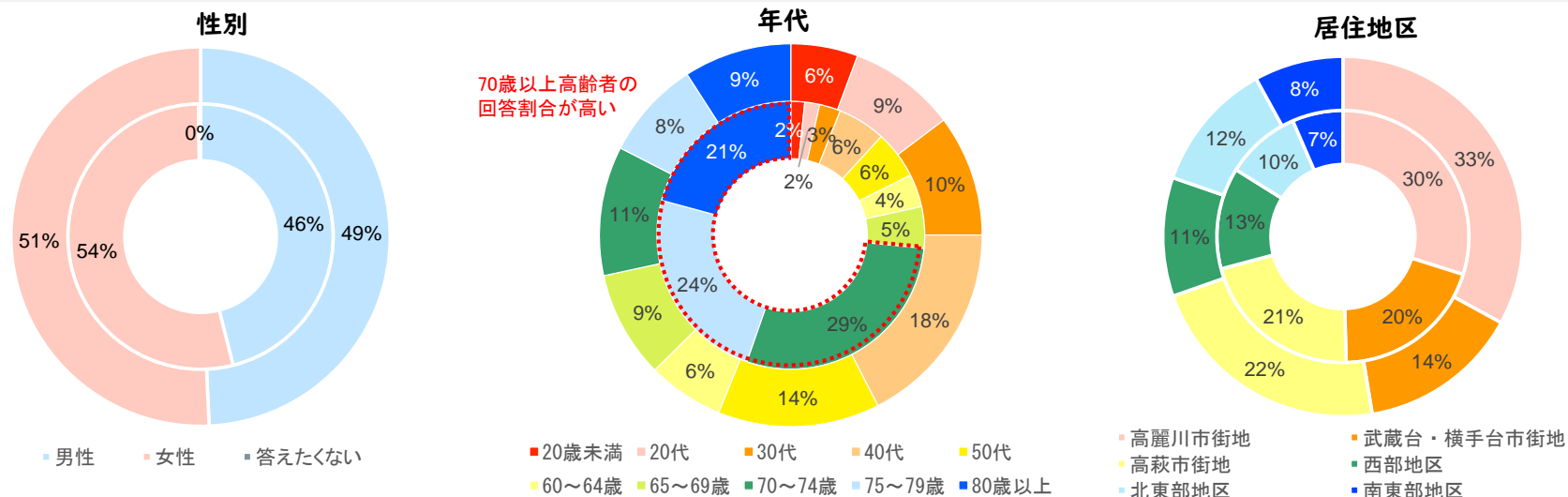


図 回答者の属性 (外側：R2国勢調査／内側：アンケート調査結果)

(出典) R2国勢調査

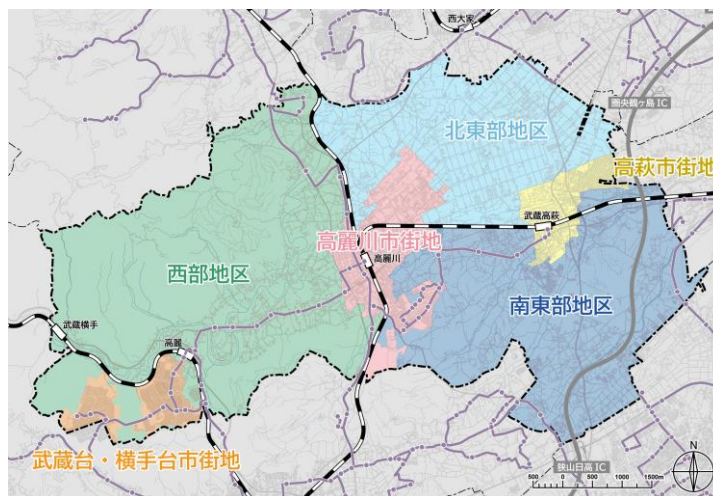


図 居住地区区分



### 3. 移動に係る制約等

- 「運転をなるべくしたくない」もしくは「運転できない」層は全体の3割程度を占めており、特に75歳以上の高齢者層でその割合が高い傾向にあります。
- また、近年市内で居住を開始した層（移住者層）は、「積極的に運転したい」という回答が比較的少ない傾向にあります。

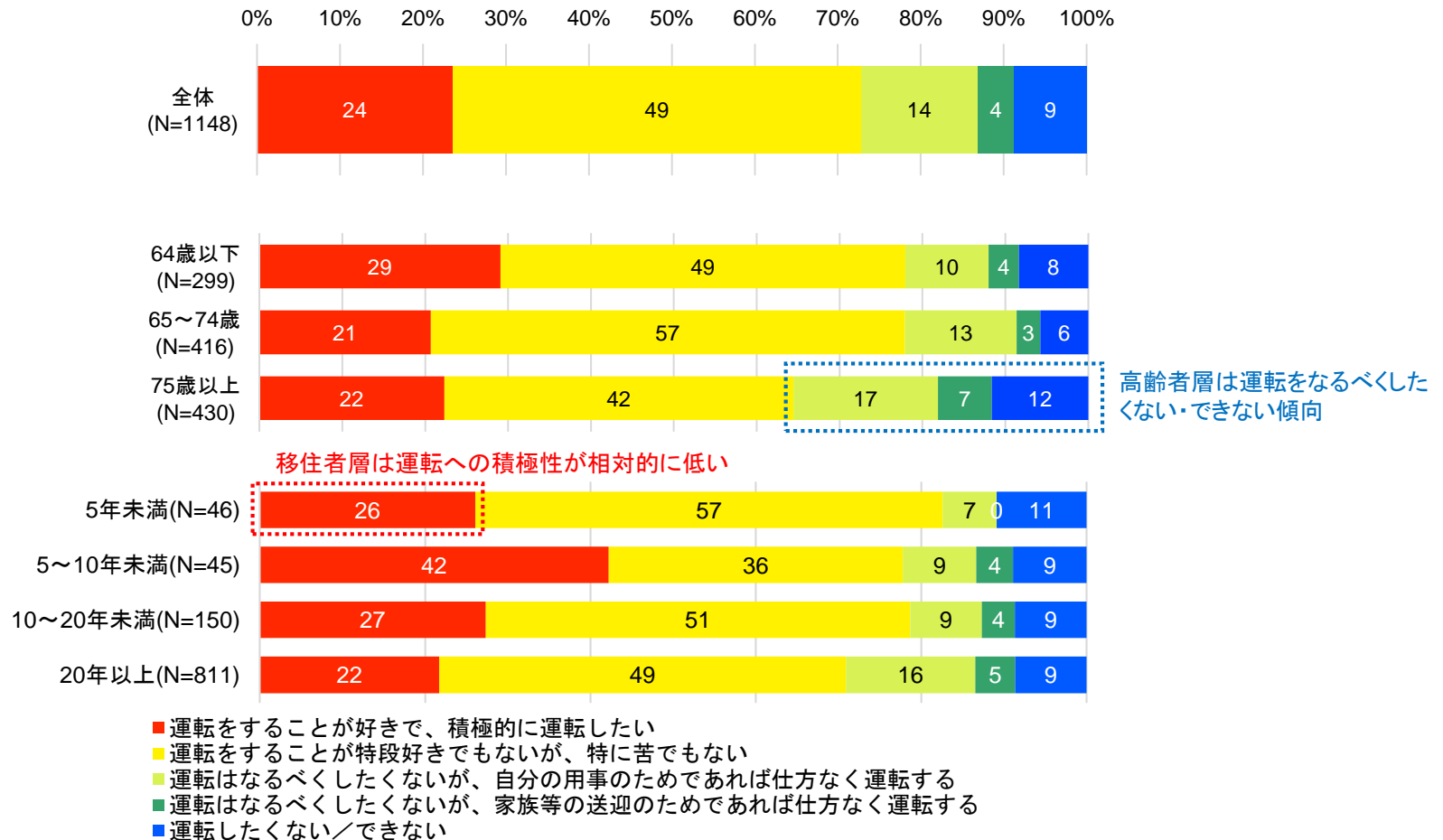


図 運転に対する考え方

### 3. 移動に係る制約等

- 限界徒歩距離（無理なく歩くことができる距離）について、1キロメートル以上の長距離を歩行することができる層の割合は年代によって大きく変わりません。
- しかし、数百メートル程度以下の短距離しか歩行できない層に関しては、加齢とともにその限界距離が短縮する傾向にあり、**元気な方と身体的な制約が強い方の二分化**が進んでいます。

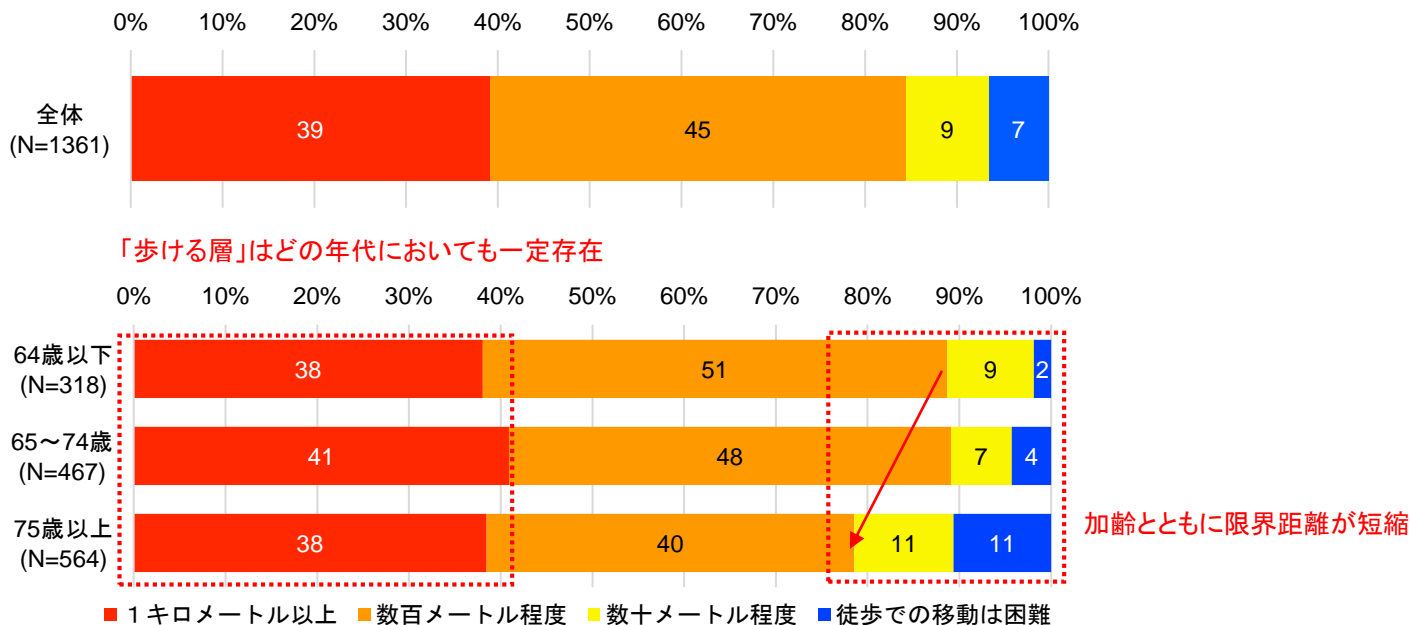


図 限界徒歩距離

※参考：日高市立地適正化計画における徒歩圏域については、鉄道駅から800m、バス停から300mで設定

# 4. 普段の移動実態（概要）

- 通勤・買物については週に1~2回以上の外出割合が9割前後を占めています。通院については1ヶ月に1~2回程度の外出が最も多く全体の半数程度を占めています。
- 移動時間（距離）は買物が最も短く、次いで通院、通勤通学と続きます。
- 自宅出発のピークは午前7時~9時台であり、通勤・通学、通院と比較して買物は若干ピーク時刻が遅い傾向にあります。また、買物・通院については午前中に用事を済ませて帰宅する傾向にあります。

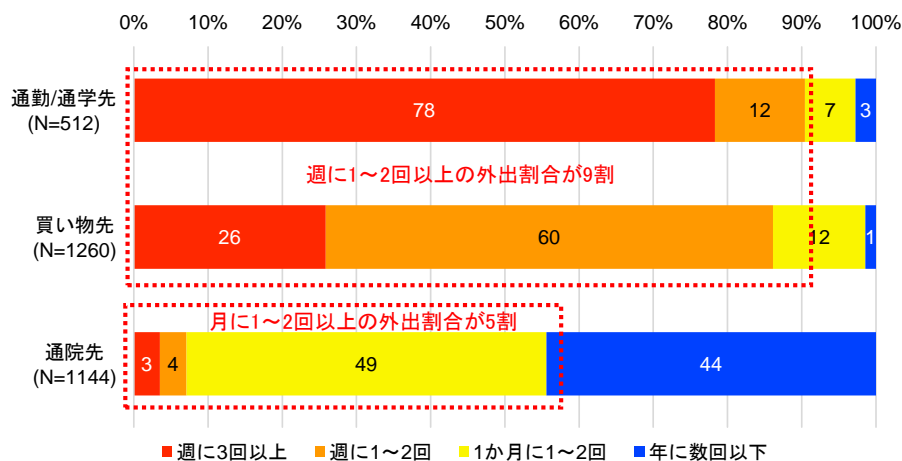


図 目的別移動頻度

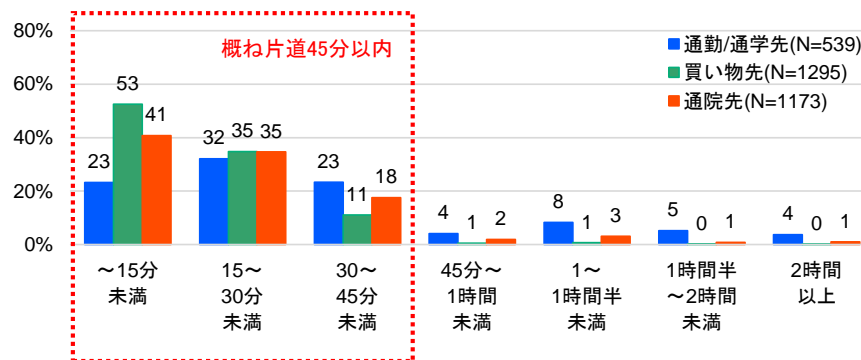


図 目的別移動時の所要時間（片道）

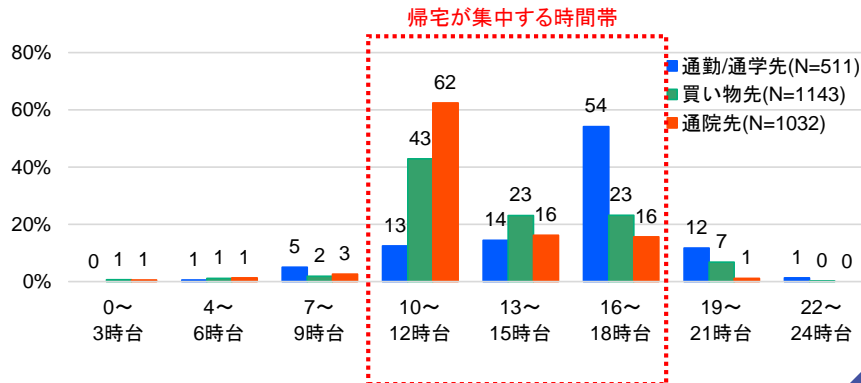
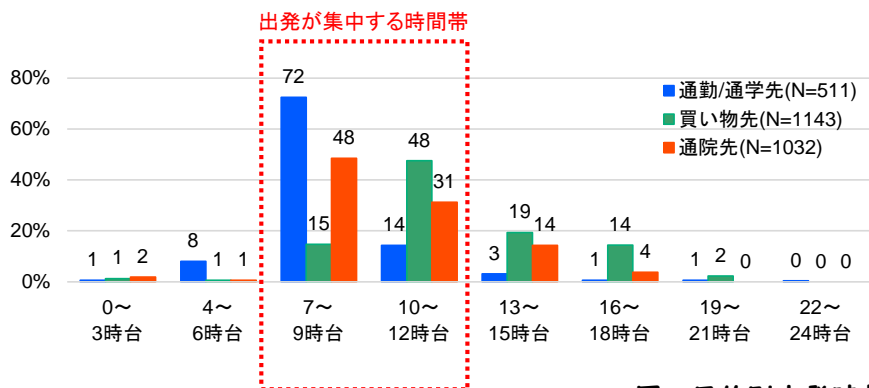


図 目的別出発時刻（左）・帰宅時刻（右）





# 4. 普段の移動実態（買物流動）

- 市内の買物施設では、**ヤオコー高麗川店**と**ベイシアひだかモール店**の利用が多く、ヤオコーは市内全域から、ベイシアは市内東部を中心に利用が多い状況にあります。日常的な買物は、飯能市のマミーマーケット飯能武蔵丘店を除き、**市内買物施設の利用が多い傾向**です。
- その他、高麗川市街地では生鮮市場TOP高麗川が、市内西部ではマミーマーケット飯能武蔵丘店の利用が多い状況にあります。

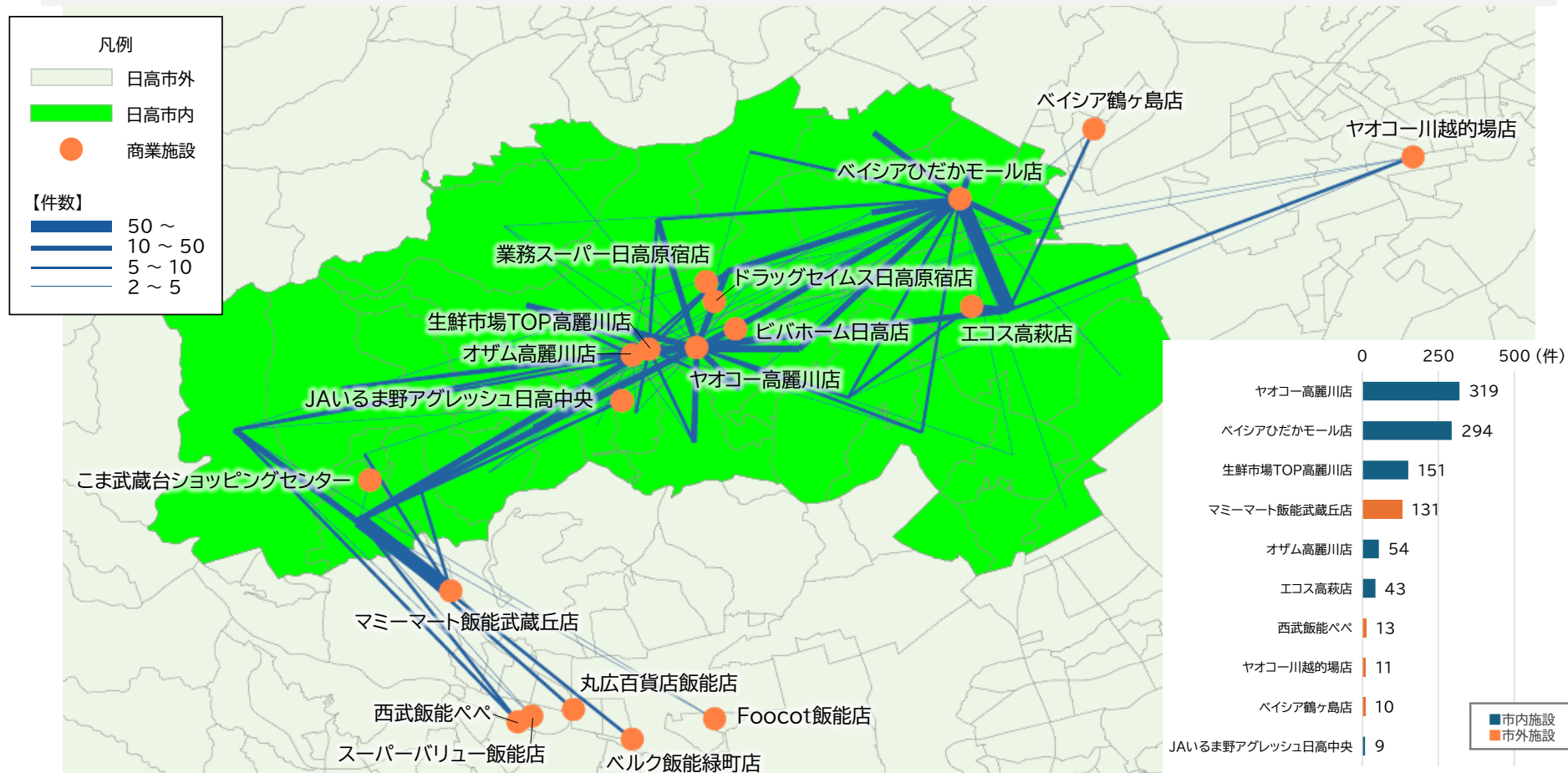


図 買物目的の流動

図 訪問の多い施設（上位10施設）

※具体的な施設名を回答、特定できた回答件数2件以上の流動のみ图示

# 4. 普段の移動実態（通院流動）

- 市内の医療施設では、旭ヶ丘病院と岡村記念クリニックの利用が多く、旭ヶ丘病院は市内東部から、岡村記念クリニックは市内西部からの利用が多い状況にあります。その他、市内西部からは武蔵台病院の利用が多い状況にあります。
- 毛呂山町の埼玉医科大学病院を除き、市内医療施設の利用が多い状況にあります。

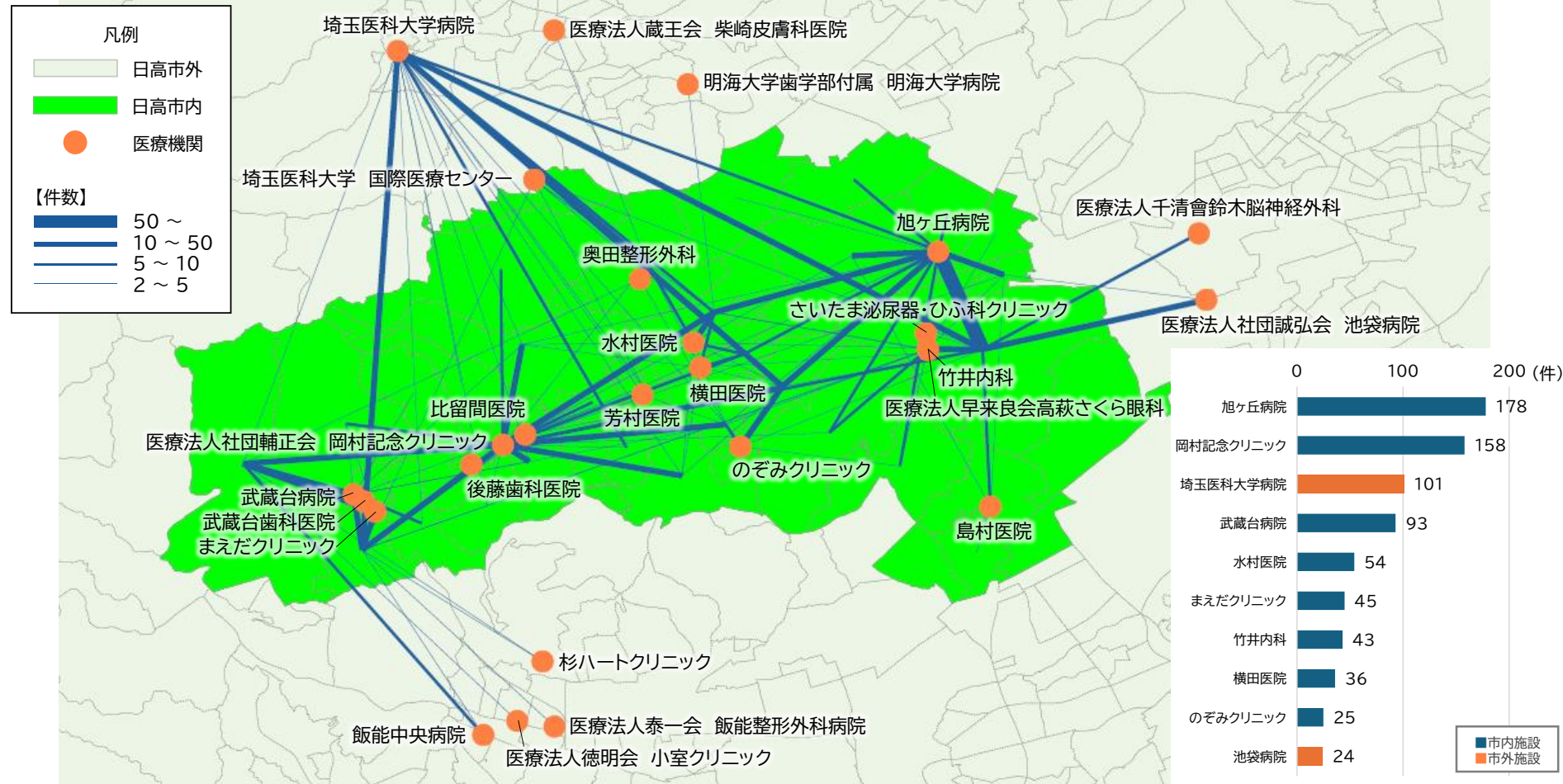


図 通院目的の流動

図 訪問の多い施設（上位10施設）

※具体的な施設名を回答、特定できた回答件数2件以上の流動のみ図示





# 5. 利用交通手段

- 「自動車（自分で運転）」が多く全体の過半数を占めており、「自動車（家族等による送迎）」も含めると8割程度を占めています。
- 通勤通学に関しては鉄道の利用が2割程度と比較的高い状況ですが、バス・タクシーの利用は1割以下にとどまります。
- 病院等が運営する施設の送迎サービスについてはタクシーと同程度利用されています。

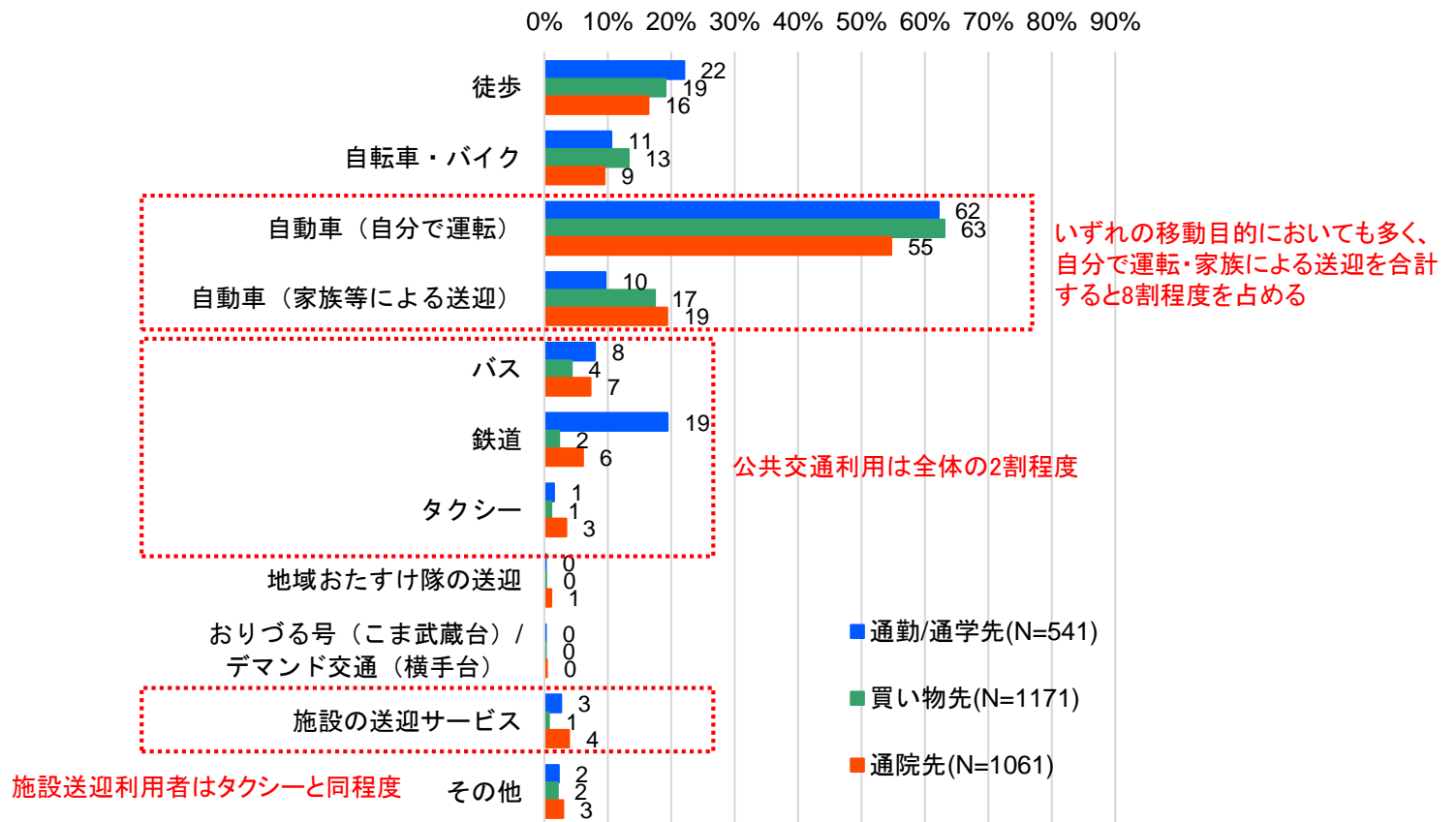


図 目的別移動時の代表交通手段

# 5. 利用交通手段

- いずれの目的に関しても、加齢に伴い自家用車（自分で運転）の割合が減少し、徒歩や自動車（家族等による送迎）、バスの利用等が増加する傾向にあります。
- バスについては高齢者層の利用が多い傾向にありますが、鉄道については高齢者層以外の利用も多い傾向にあります。

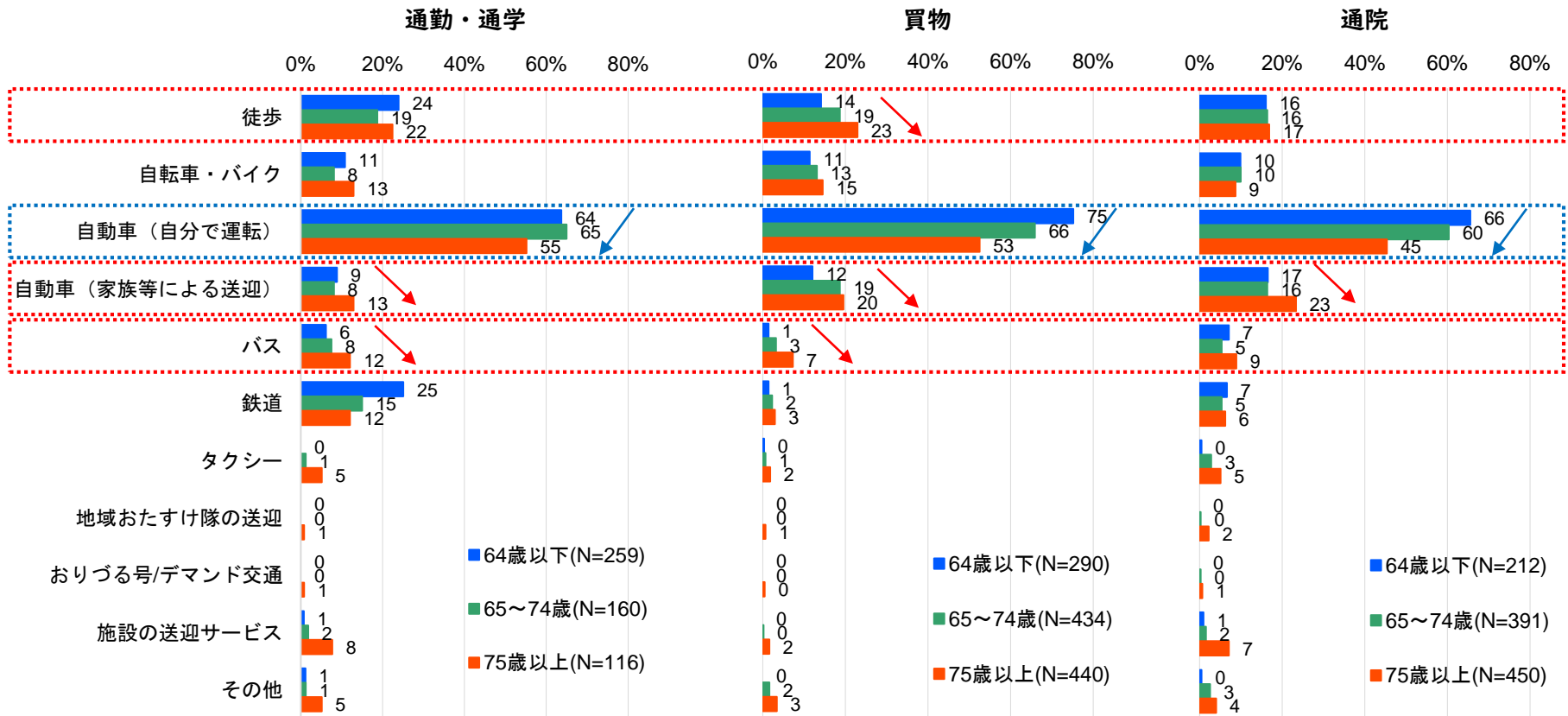


図 移動時の代表交通手段（移動目的別×年齢階層別）



# 6. 公共交通の利用実態

- 公共交通の中で最も利用頻度が高いものは鉄道であり、いずれの年代においても市民の8割前後は年に数回以上は利用しています。特に通勤通学で利用する若年層で利用頻度が高い状況にあります。
- バス・タクシーについては加齢とともに利用頻度が増加する傾向にあり、特にタクシーについては他の年代と比較して75歳以上の高齢者の利用頻度が特に高い状況にあります。

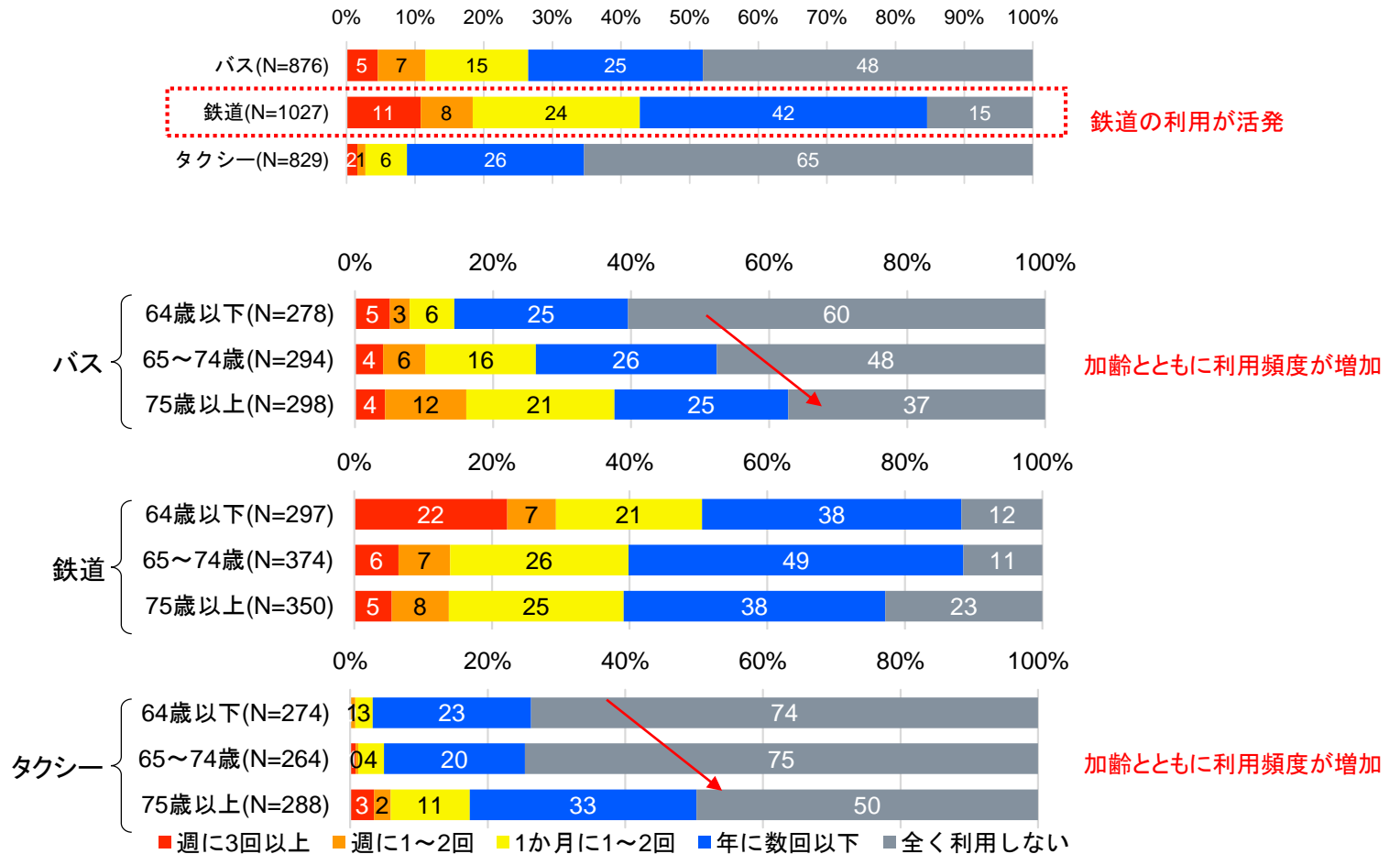


図 公共交通の利用頻度（交通機関別×年齢階層別）

# 6. 公共交通の利用実態

- バスについては地区間で利用頻度のばらつきが大きく、武蔵台・横手台市街地での利用が顕著であり、逆に高萩市街地では利用が少ない傾向にあります。
- 鉄道は市街化調整区域を含めて市内全域で幅広く利用されています。
- タクシーについては地区間でのばらつきは小さいですが、高萩市街地・高麗川市街地で比較的使用が多い傾向にあります。

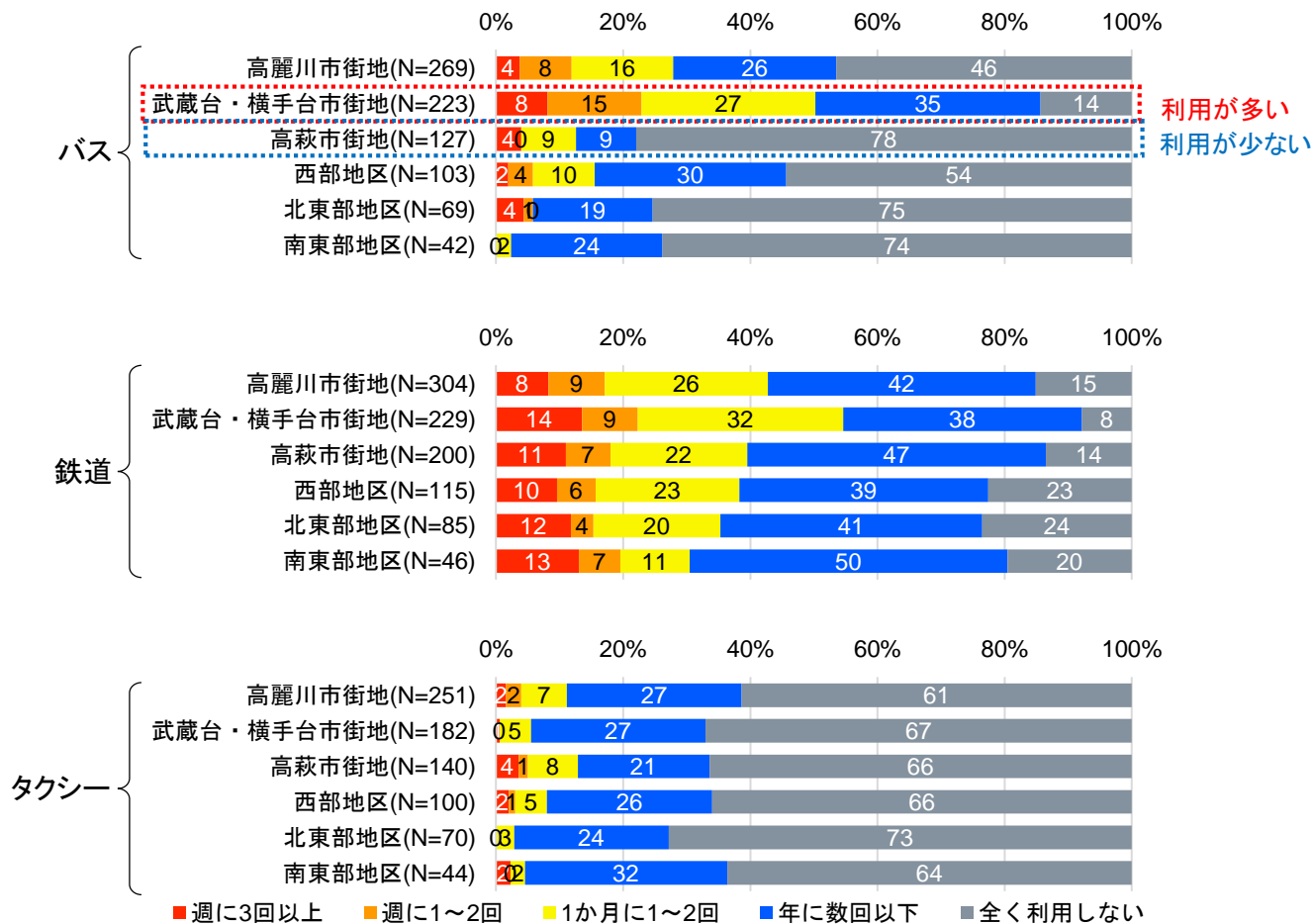


図 公共交通の利用頻度（交通機関別×居住地区別）

# 6. 公共交通の利用実態

- 鉄道と比較するとバス・タクシーに対する満足度が若干低い傾向にあります。
- バス・鉄道については、65歳～74歳の世代で他世代と比較して満足度が高い傾向にあります。
- タクシーについては、加齢に伴い満足の割合も高まりますが、不満の割合も高まり、評価が二分化されます。

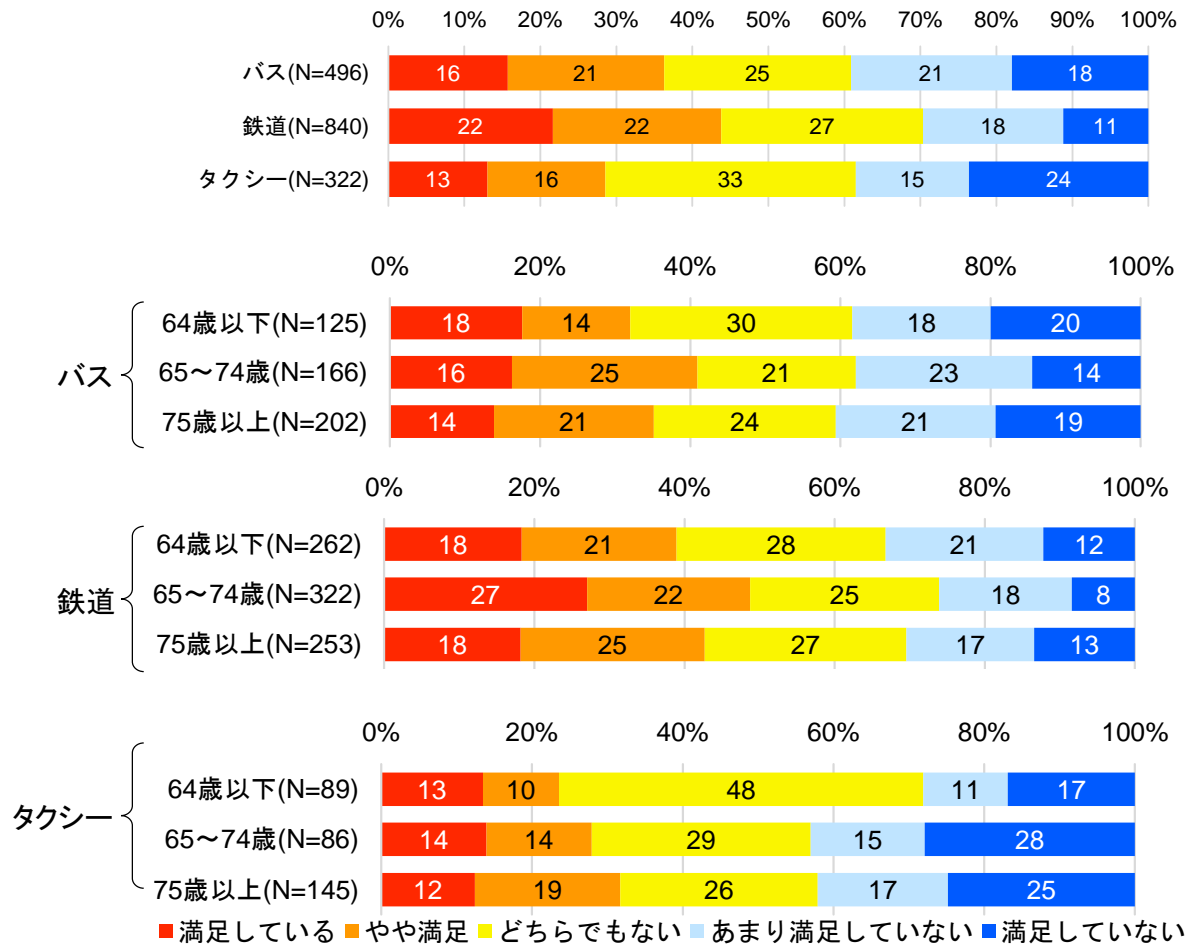


図 公共交通に対する満足度

# 6. 公共交通の利用実態

- 地区間で満足度を比較すると、市街化調整区域で満足度が低い傾向にあり、特に市北東部の市街化調整区域においてどの交通手段に関しても満足度が著しく低い状況にあります。
- 市街化区域内では、高萩市街地のバス・タクシーに関する満足度が他の市街地と比較して低い傾向にあります。

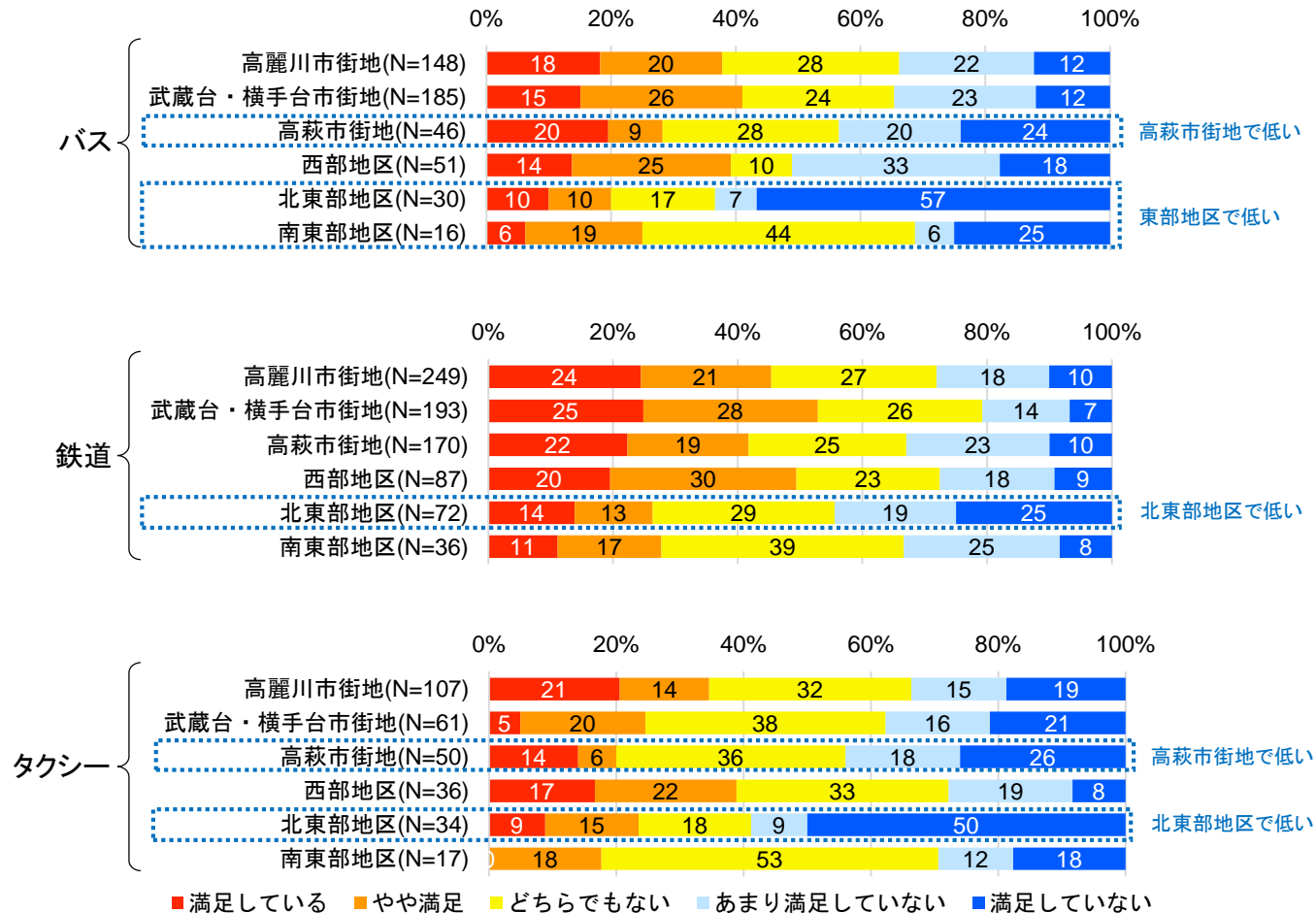


図 公共交通に対する満足度（交通機関別×居住地区別）

# 6. 公共交通の利用実態

- 自分で運転をしなくても目的地に到着できる点が公共交通の共通的なメリットとして認識されています。
- 鉄道に関しては定時性・速達性が、バス・タクシーについては徒歩移動が少ない点（ドアツードア性の高さ）がメリットとして認識されています。
- 一方で、利用したいときに利用できない自由度の低さが公共交通の共通的なデメリットとして挙げられます。加えて、タクシーについては運賃の高さについても利用の障壁になっています。

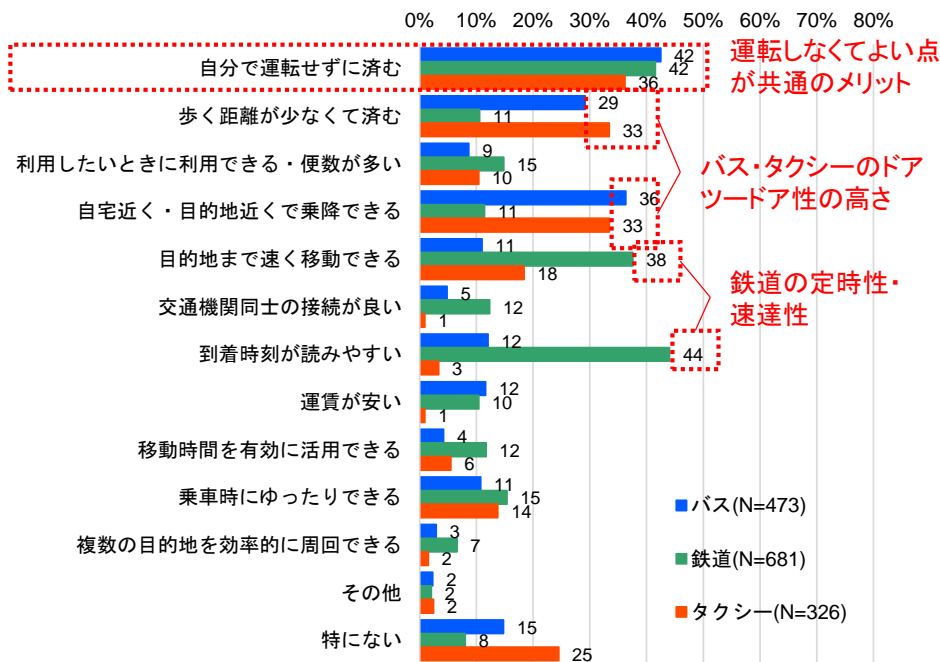


図 公共交通を利用したい理由

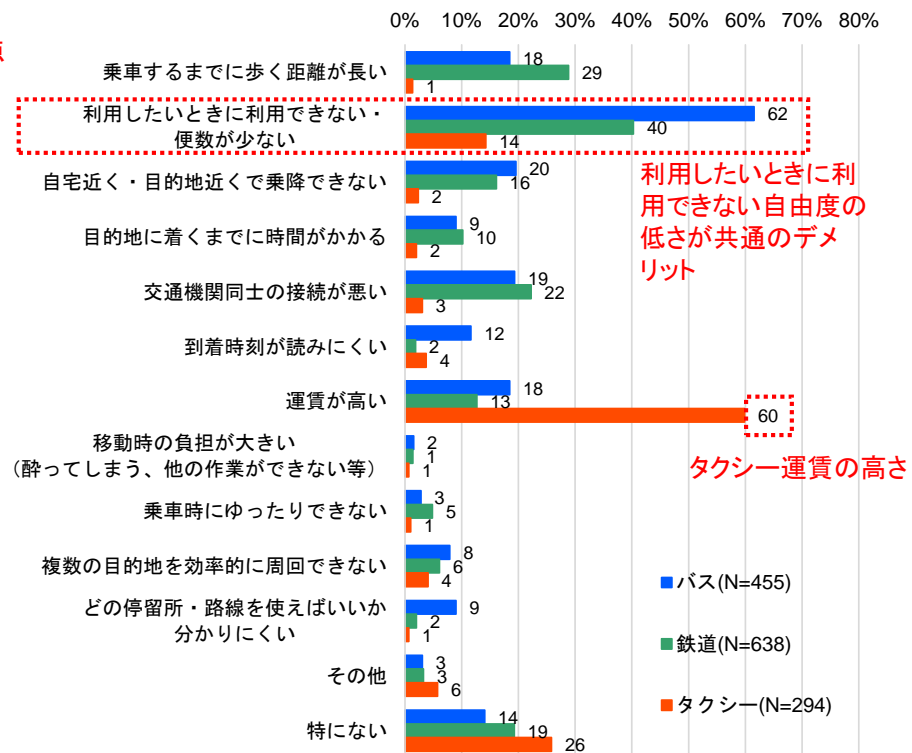


図 公共交通を利用したくない理由

# 7. 送迎の実態

- 個人の自動車による知合い同士での送迎活動は、**通院介護等の場面を中心に定常的に行われており**、行先としては飯能市や毛呂山町等、移動距離の長い送迎も行われています。
- 送迎する側の2～3割が送迎活動を負担**に感じており、特に**若年層においてその傾向が強い**状況にあります。

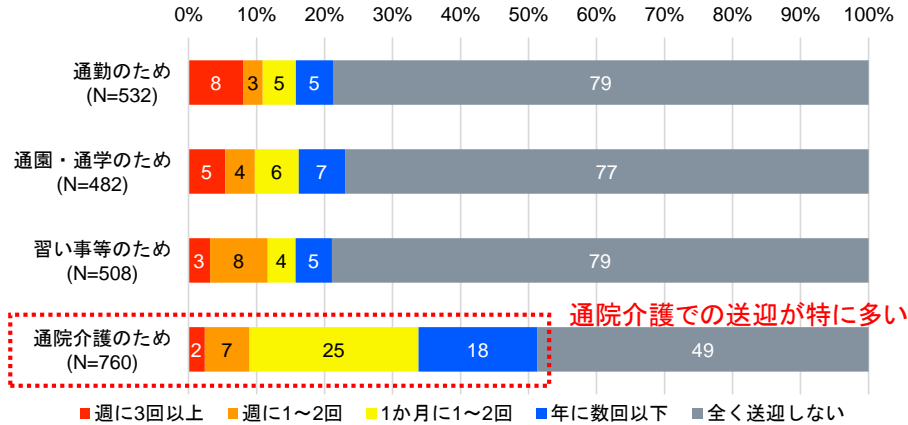


図 家族等の送迎の頻度

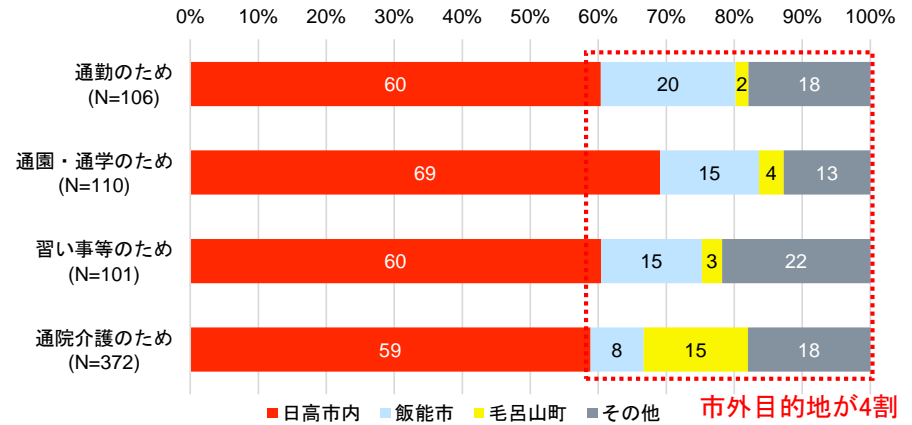


図 送迎先

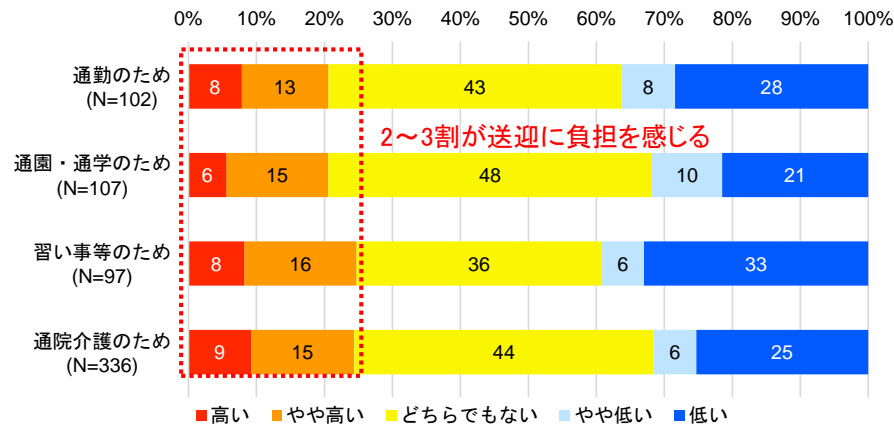


図 送迎に対する負担感

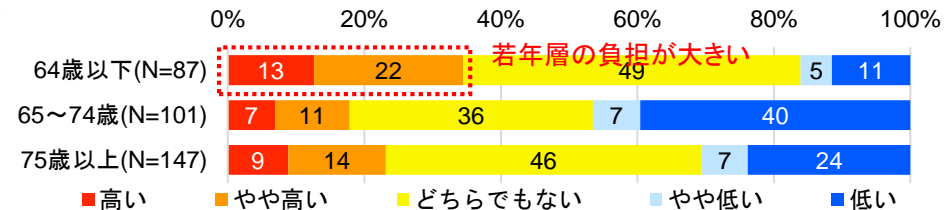
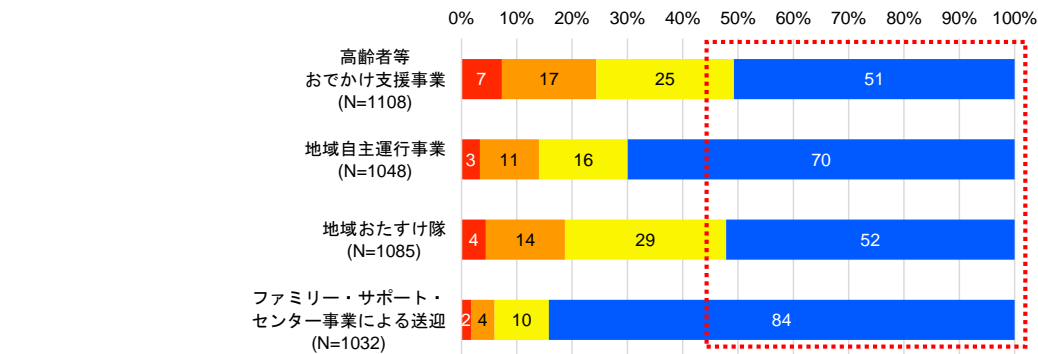


図 送迎に対する負担感 (年齢階層別)

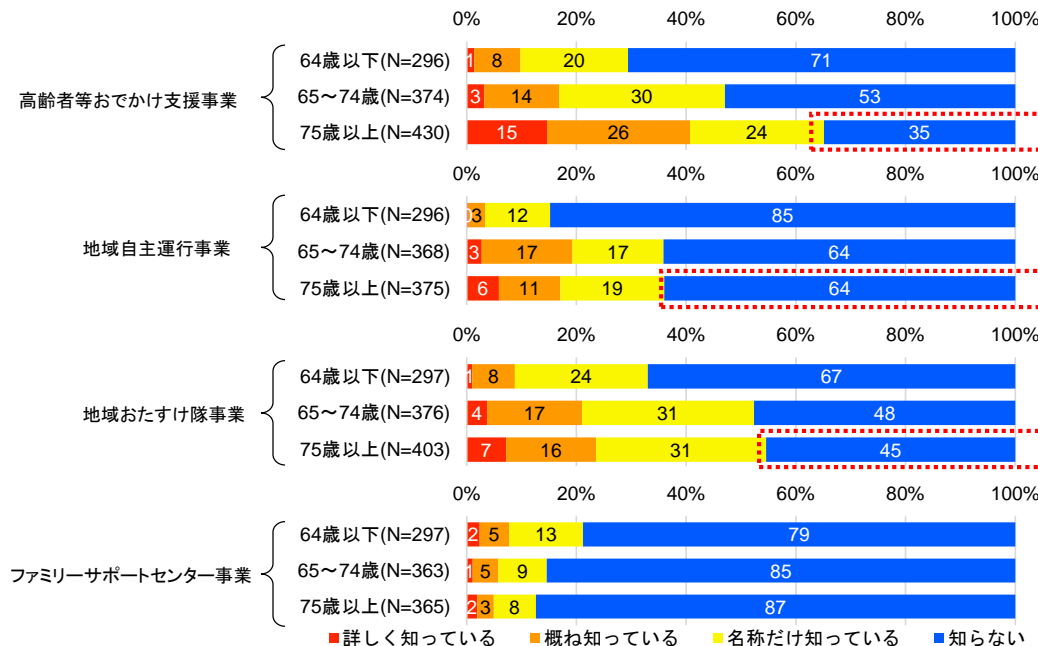


# 8. 移動支援施策等の認知状況

- 当市において展開されている各種移動支援施策については、地域の重要な移動手段の一つとなっていますが、**いずれの事業についても認知度が十分に高まっていない**点が課題として挙げられます。



いずれの事業についても市民の半数以上が事業の名称すら知らない



高齢者を対象とした事業であるが高齢者層への周知が十分には進んでいない

### アンケート自由記述での関連意見

- 補助券の配布や送迎サービスは知りませんでした。【森戸新田 70代】
- 高齢の父母がいる為、移動の支援等があるならもっと広報や市のLINE等で知らせてほしい。【原宿 30代】
- 問2（本設問）の事業がある事を、まったく知らないで各自治会長等を通し区民に説明する場を設けてほしい。【上鹿山 70代】
- 問2（本設問）の内容を知りたいと思う(資料等で学んでいます)。【高麗川 70代】
- おたすけ隊があるのも知らない人がいる。【高麗本郷 60代】

図 各種移動支援事業等の認知状況

# 10. 総括

## ・ 加齢に伴う移動制約

- ✓ 高齢になるほど、自動車の運転ができない・なるべくしたくない層が増加する。
- ✓ 高齢になるほど、元気に歩くことができる層と身体的な制約が強い層の差が明確化する。

## ・ 普段の移動実態

- ✓ 買物・通院については午前中に用事を済ませて家に戻る傾向がある。
- ✓ 通勤・通学は市外への移動が多いが、買物・通院は市内での移動が多い。
- ✓ 自動車（運転・送迎）の割合が高く、自動車利用を前提とした生活が定着している。

## ・ 公共交通の利用実態

- ✓ 鉄道は若年層も含めて利用されているが、バス・タクシーは高齢者の利用割合が高い。
- ✓ 市内東部の市街化調整区域や高萩市街地において公共交通の満足度が相対的に低い。
- ✓ 鉄道は速達性・定時性が評価されており、バス・タクシーはドアツードア性が評価されている。
- ✓ 公共交通全般について、利用したいときに利用できない自由度の低さが指摘されており、加えてタクシーについては運賃の高さが課題となっている。

## ・ 送迎活動の実態

- ✓ 特に通院・介護の場面で家族や知人等による送迎活動が活発に行われている。
- ✓ 送迎を担う若年層の負担が大きくなっている。

## ・ 市内移動支援施策の実態

- ✓ 市民による認知が十分に進んでいない事業が多い。